

# 英語科学習指導案

日時 平成25年5月24日(金) 1校時  
学年 2年1組(男子19名 女子20名 計39名)  
指導者 入江 将 紀

## 1 単元名 NEW HORIZON English Course 2 Unit 2 A Trip to New Zealand

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、ゴールデンウィークにニュージーランド旅行を計画していた一郎が、実際にそこへ行き、ニュージーランドならではの観光地や動物を見物するという内容である。具体的には、生徒の一郎とさくら、ALTのブラウン先生によるゴールデンウィークの予定についての対話、入国審査での一郎と係員の対話、一郎によるエグモント山についての紹介、キーウィの生態やそれを取り巻く問題についての説明で構成されている。言語材料としては、[be going to + 動詞の原形]を用いた未来表現や[主語+動詞+間接目的語+直接目的語]、[主語+動詞+目的語+補語]の文構造に加え、「相づちをうつ」「説明する」「発表する」「依頼する」等の表現も扱われている。このような言語材料を用いて、生徒は、自分に身近な観光地や人・ものなどについて紹介したり対話したりすることが可能となる。よって、本単元は、自分が伝えたい鹿児島ならではの観光地や人・ものなどについて、友だちやALTなどの身近な外国人に英語で紹介したいという意欲をかき立てる題材であると考えられる。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は、ペアやグループで教え合ったり教師に質問したりするなどの工夫をしながら、積極的に言語活動に取り組んでいる。アンケートによれば、生徒は「読むこと」に高い関心を示しており、特に、「文字や符号を識別し、正しく読むこと」や「書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること」、「聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること」が得意であると考えている。しかし、「伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること」や「話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること」については苦手だと考えている。これらのことから、生徒は、基礎的・基本的な知識・技能においては一定の定着が図られているものの、身に付けた言語材料を具体的な場面や状況の中で、適切かつ即興的に表現することに課題を感じていると推測される。一方で、生徒は、「聞くこと」と「書くこと」に不安を感じているようである。特に、「聞くこと」における「自然な口調で話されたり読まれたりする英文を聞いて、情報を正確に聞き取ること」や「質問や依頼などを聞いて適切に応じること」、「書くこと」における「聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること」や「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと」について、その割合が大きいと考え

られる。このように、生徒は、コミュニケーションへの意欲は高いが、相手の意向を理解し適切に応じることや、自分や他者の考えや気持ちを互いに正しく伝え合い、コミュニケーションを円滑に進めることに課題があると推測される。よって、コミュニケーション活動を行わせる際には、速読やリスニングに関する指導、生徒に試行錯誤させるような情報を与え、生徒の思考力・判断力を活性化させる指導、さらに自分の考えや気持ち、その理由等を正しく伝えさせるための指導を工夫し、円滑にコミュニケーションを図るために必要な表現力・理解力を育む必要がある。

### (3) 指導観

本単元の題材の特性を生かし、生徒が、ALTなどの身近な外国人に鹿児島ならではの観光地や人・もの・ことなどについて紹介するナレーションを作成することができるような授業を展開したい。具体的には、教科書の内容を中心に、small tasksを通して身近な観光地を友だちに紹介したり説明したりするための言語材料を理解させる。また、英文を書く際の基本的な文章構成についても理解させる。さらに、代名詞や他の英語を用いた名刺の書き換えや、接続詞や副詞を用いるなどした文章の構成等を意識させ、全体として一貫性のある文を書かせる指導の工夫を図る。その後、「鹿児島の観光地を紹介しよう」という large task に取り组ませ、生徒が small tasks での経験を生かし、ALTに身近な観光地を英語で紹介するナレーションを作ることができるようにしたい。

このような指導を通して、まとまりのある英文を適切に理解し、まとまりのある英文を通して相手を意識しながら表現する力を高め、円滑にコミュニケーションを図ろうとする行う生徒を育成したい。

### 【アンケート結果】 (アンケート対象者：2年1組 男子19名 20名 計39名)

1	次の英語の活動で最も興味・関心が高いことと不安なことをそれぞれ1つずつ選びなさい。	興味・関心が高い	不安
ア	聞くこと	(17.9%)	(33.3%)
イ	話すこと	(17.9%)	(5.1%)
ウ	読むこと	(43.6%)	(20.5%)
エ	書くこと	(20.6%)	(41.1%)
2	次の「聞くこと」の中で、得意なことと苦手なことをそれぞれ選びなさい。いくつ選んでもかまいません。	得意	苦手
ア	強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえて正しく発音すること	(59.0%)	(33.3%)
イ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて情報を正確に聞き取ること	(23.0%)	(48.7%)
ウ	質問や依頼などを聞いて適切に応じること	(17.9%)	(43.6%)
エ	話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること	(25.6%)	(25.6%)
オ	まとまりのある英文を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること	(28.2%)	(35.9%)
3	次の「話すこと」の中で、得意なことと苦手なことをそれぞれ選びなさい。いくつ選んでもかまいません。	得意	苦手
ア	強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声をとらえて正しく発音すること	(46.1%)	(35.9%)
イ	自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること	(25.6%)	(28.2%)
ウ	聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること	(33.3%)	(28.2%)
エ	つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること	(17.9%)	(38.5%)
オ	与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること	(23.0%)	(41.1%)
4	次の「読むこと」の中で、得意なことと苦手なことをそれぞれ選びなさい。いくつ選んでもかまいません。	得意	苦手
ア	文字や符号を識別し、正しく読むこと	(51.3%)	(25.6%)
イ	書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること	(56.4%)	(10.3%)
ウ	物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること	(33.3%)	(28.2%)
エ	伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること	(12.8%)	(41.1%)
オ	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること	(5.1%)	(64.1%)
5	次の「書くこと」の中で、得意なことと苦手なことをそれぞれ選びなさい。いくつ選んでもかまいません。	得意	苦手
ア	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して書くこと	(48.7%)	(7.7%)
イ	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと	(28.2%)	(30.7%)
ウ	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること	(15.4%)	(51.3%)
エ	身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと	(41.1%)	(30.7%)
オ	自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと	(20.6%)	(33.3%)
6	鹿児島ならではの観光地や人・もの・ことなどについて紹介するとしたら、どのようなことを取り上げたいですか。		
ア	観光地	(天文館、桜島、霧島、指宿、種子・屋久、奄美諸島、温泉、かのやばら園、知覧特攻基地、奄美諸島、枕崎、城山 など)	
イ	人	(西郷隆盛、大久保利通、篤姫、五代友厚、島津斉彬、東郷平八郎、遠藤保仁、長湊剛、A I、椋鳩十 など)	
ウ	もの	(おはら祭り、妙円寺遠温泉、豊かな自然、火の島祭り、桜島の降灰・噴火、祇園祭、六月灯、新幹線 など)	
エ	こと	(桜島大根・小みかん、薩摩切子、大島紬、黒豚、焼酎、さつまいも、薩摩焼、白熊、かるかん、縄文杉 など)	

### 3 単元の計画

(1) タスク「鹿児島の観光地を紹介しよう」

(2) large task で活用させたい主な言語材料

言語の働き	学年・単元	教科書での表現
発表する	2年 WU 2年 U2-RFC	Hello, everyone. I'm Okada Ichiro. I'm going to tell you about kiwis.
描写する	1年 U10-① 1年 U10-② 1年 U10-② 1年 U10-③ 1年 U10-③ 1年 WP3 1年 WP3 2年 WU 2年 U2-RFC	The hills here are too steep. Wow, it's beautiful. But it's not golden. Look at the trees! They're very tall. Look at the lake! It's like a mirror. The Earth is so small. But London is a beautiful city. You can see me at the zoo. It looks like Mt. Fuji, but it's not. It's Mt. Egmont.
説明する	1年 U7-② 1年 U7-③ 1年 U10-② 1年 U10-② 2年 WU 2年 WU 2年 U2-RFC 2年 U2-RFC 2年 U2-RFC 2年 U2-RFC	We're in San Francisco. They're fifty minutes long. That's the Golden Gate Bridge. The name comes from the Golden Horn in Turkey. This is an ice hockey jersey. Ice hockey is a popular sport there. People call it Mr.Taranaki, too. "Taranaki" means "shining mountain peak" in Maori. It's about 2,500 meters high. They live only in New zealand.

(3) large task における活用例 (身近な観光地紹介)

Hello, everyone. I'm Ichiro. Now I'm going to tell you about a famous person from Kagoshima. Look at this man Do you know him? He is Mr. Saigo Takamori. We call him Saigo-don. "Don" means "Mr." in Kagoshima dialect. It's so big and beautiful. You can see a bronze statue of him in Kagoshima city. It's about eight meters tall. He looks strong, but he was kind and gentle. Haw a good time in our city. Thank you.

(4) 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
<p>① 相手に関心をもって聞いたり、相手が理解しやすいよう工夫して表現したりしようとしている。</p> <p>② 相づちや聞き返し、確認などをしながら会話を継続しようとしている。</p>	<p>① 自分の考えや気持ち、事実などを正確に表現できる。</p> <p>② 場面状況に応じて、相手の意向をとらえ、適切に表現している。</p> <p>③ 相手を意識し、強調、くり返し、問いかけなど工夫して表現している。</p>	<p>① 自然な口調で読まれた英文を正しく理解する。</p> <p>② まとまりのある英文の概要や要点を理解する。</p> <p>③ 相手の意向に応じることができるよう、適切に理解している。</p>	<p>① [be going to + 動詞の原形]を用いた文の形や意味、用法を理解している。</p> <p>② [主語+動詞+間接目的語+直接目的語]を用いた文の形や意味、用法を理解している。</p> <p>③ [主語+動詞+目的語+補語]を用いた文の形や意味、用法を理解している。</p> <p>④ 文と文のつながりや段落の組み立て方などの文章構成について知識がある。</p>

(5) 指導と評価の計画

時間	○タスク ・ 学習活動	単元の評価規準	評価方法 (総括的評価)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [small task] 単元のあらましを理解しよう</li> <li>・ オリエンテーションを通した Unit 2のスキーマ形成</li> <li>・ large task の設定</li> <li>・ 鹿児島県の観光地を紹介するために必要な情報等の収集</li> <li>・ 英文を書く際の基本的な文章構成の理解</li> </ul>	エー④	ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [small task] 週末の予定について話そう</li> <li>・ Starting Out の内容理解と音読練習, [be going to + 動詞の原形] を用いた未来表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習</li> <li>・ 週末の予定を紹介する文の作成と発表</li> </ul>	イー① エー①	後日ペーパーテスト
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [small task] 空港でのスキットを作ろう</li> <li>・ Dialog の内容理解と音読練習, [主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語] や観光地紹介に必要な表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習</li> <li>・ 空港でのスキットの作成と発表</li> </ul>	アー② ウー① エー②	後日ペーパーテスト 活動の観察
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [small task] 観光地紹介のナレーションを作ろう</li> <li>・ Reading for Communication の内容理解と音読練習, [主語 + 動詞 + 直接目的語 + 補語] や観光地紹介に必要な表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習</li> <li>・ 観光地を紹介する文の作成を発表</li> </ul>	イー② ウー③ エー③	後日ペーパーテスト ワークシート
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [small task] 観光地紹介のナレーションを作ろう</li> <li>・ Reading for Communication の内容理解と音読練習, 観光地紹介に必要な表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習</li> <li>・ 観光地を紹介する文の作成と発表</li> </ul>	イー① ウー② エー④	後日ペーパーテスト ワークシート
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [large task] 鹿児島県の観光地を紹介しよう</li> <li>・ 鹿児島県の観光地を紹介文の作成と発表準備</li> <li>・ 相互評価, 自己評価とALTからのフィードバック</li> </ul>	アー① イー③ エー④	活動の観察
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [large task] 鹿児島県の観光地を紹介しよう</li> <li>・ ナレーションの原稿の推敲</li> <li>・ 鹿児島県の観光地の紹介ナレーションの練習, 発表</li> </ul>	イー① ウー②	活動の観察 ALTによる評価用紙

## 4 本時の計画

### (1) 本時のタスク

「観光地紹介のナレーションを作ろう」

### (2) 指導の重点

「読むこと」「書くこと」

### (3) 本時の目標行動

導入時において、鹿児島や世界の観光地に関する教師とのインタラクションを通して、本時のタスクを把握する。その後、新出語句や観光地紹介に必要な言語材料を理解する。次に、教科書本文の内容を理解を通して、語と語のつながり、文と文とのつながり、英文を書く際の基本的な文章構成などについても理解する。その後、教科書本文の音読練習を行う。次に、前時までに作成した観光地紹介文に続けて、文章構成や代名詞や接続詞などの使い方に注意しながら、さらに英文を書き加える。終末時では、教師によるプレゼンテーションを視聴し、large taskへの見通しをもつ。

### (4) 本時の指導目標

ア 相手に関心をもって聞いたり理解したりしできるように工夫して表現しようとする態度をはぐくむ。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

イ 文と文や語と語とのつながり、文章構成等を意識させ、新出及び既習の語句や表現等を活用しながら、観光地を紹介する文を作成できるようにさせる。 【外国語表現の能力】

ウ 教科書本文のまとまりのある英語を読んだり聞いたりして、文と文や語と語のつながりを意識しながら、その概要や要点を正確に理解できるようにさせる。 【外国語理解の能力】

エ まとまりのある英文を書く際の基本的な文章構成について理解させる。

【言語や文化についての知識・理解】

### (5) 授業設計上の工夫

#### ア ICT活用の工夫（教科論6-(1)-イ参照）

電子黒板を活用し、プレゼンテーションソフトを用いたり、ウェブサイト上で収集した画像や映像を用いたり、また、アプリケーションソフトを用いたりして、授業の導入や展開、パターン・プラクティスなどを行う。これらのことにより、生徒は、授業の題材や授業中でのコミュニケーションに好奇心をもちながら、積極的に取り組むことができ、円滑にコミュニケーションを図ろうとする態度を育むことができると考える。

#### イ 文と文のつながりを意識し表現・理解させる工夫（教科論6-(2)-イ参照）

生徒が、自分や他者の考えや気持ちを互いに正しく伝え合い、より適切に表現できるように文と文のつながりを意識して表現・理解させる指導を工夫する。具体的には、代名詞や言い換えの手法を用いた文中の語と語との語彙的・文法的なまとまり、接続詞や副詞を用いた文と文との意味的なまとまりの二つを意識させる。このことにより、生徒は英語に接した際に、一文一文の意味や解釈など、内容の特定部分にとらわれることなく、文と文のつながりを意識したり、より他者を意識したりしながら、円滑にコミュニケーションを図るために必要な表現力や理解力を身に付けることができると考える。

(6) 本時の実際 (5/7)

区分	教授=学習過程	時間	生徒の活動	指導上の留意点 ◆評価 □補説 (研究との関連)	
導 入	Start	10'	1 英語で挨拶する。 2 英語でゲームを行う。 3 様々な観光地について教師と対話をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語学習の雰囲気を作る。</li> <li>積極的に英語で表現したり、英語を理解したりしようとする態度をはぐくむ。</li> <li>ICTを活用し、教材やコミュニケーションに対する生徒の興味・関心を高める。 (教科論6-(1)-イ)</li> </ul>	
	Greetings 1				
	Warm Up 2				
展 開	Oral Interaction 3	35'	4 本時のタスクを把握する。	観光地紹介のナレーションを作ろう	観光地紹介への意欲をもたせた上でタスクを提示する。
	Grasping Task 4		5 教科書の概要を把握する。	写真やスライド等を用いて視覚的にも導入する。	
	Oral Interaction 5		6 新出の語彙や表現を理解する。	文脈の中で語彙を導入し、語と語のつながり等を意識させながら定着を図る。	
	New Words 6		7 教科書のCDを聞く。	文と文のつながりを意識させながら聞かせる。 (教科論6-(2)-イ)	
	Listening 7		8 教科書の内容に関する教師の質問に答える。	◆ 教師の質問に適切に答えることができたか。 □ 再度、視覚資料等を用いて、概要を把握させた上で、音声を聞かせる。 (教科論6-(1)-イ)	
	Check of Understanding 8		9 教科書の音読練習を行う。	文と文のつながりを意識させながら音読させる。 (教科論6-(2)-イ)	
	Yes / Aux.		10 英文の文章構成を確認する。	教科書本文を通して、基本的な英文の文章構成について確認させる。	
	Reading Aloud 9		11 これまでに作成した観光地紹介文にさらに英文を書き加える。	英語の文章構成や、文と文とのつながり等に注意させて原稿を書かせる。 (教科論6-(2)-イ)	
	Review 10		12 全体で観光地紹介文を発表する。	◆ 文章構成や文と文とのつながり等を意識して、発表原稿を作成することができたか。 □ 原稿の文章構成をペアで確認させた後、再度発表させる。	
	Activity 11		13 教師が作成した観光地紹介のナレーションを視聴する。	文章構成等を意識させながら視聴させる。	
	Presentation 12		14 今後の活動の見通しをもつ。	本時までの活動を large task で活用できるように見通しをもたせる。	
	Yes / Aux.		Conclusion 13	5'	13 教師が作成した観光地紹介のナレーションを視聴する。 14 今後の活動の見通しをもつ。
Assignments 14					
End					
終 末					